

銀座画廊で個展開催・・・蒲原画伯

小雨が落ちる10月4日、坂本前会長、吉田副会長と3人で、銀座「ギャラリー一暁」で開催されている、HPではお馴染みの蒲原画伯(38年電気)の個展へ行きました。

今回の個展に向けて描き上げた50号から小品までの30点の作品が披露されていました。「等迦会」で発表されていた「海辺の風景」(100号)を50号に描かれていました。また故郷の「アヨロ海岸」を描いた作品も2点もありました。この日、会場には蒲原画伯の会社(雪印)の大先輩お二人も来られ、作品の前で記念撮影をしました。同級生の伊藤監査役(38年電気)他同級生が集まり、鑑賞後クラス会をされたそうです。

蒲原画伯は師・輪違宣和画伯譲りの詩情を、大らかな色彩と雄大な自然美に託した風景画の世界を展開する洋画家です。

4年ぶりとなる個展には、故郷北海道の海景をシリーズで描き続けてきており、毎年「等迦会」に発表してきています。海の画家・蒲原の描く妙義、妙高、八海山といった山並みと、様々な海の表情を心行くまで堪能した個展でした。蒲原画伯は、一旦後輩に譲った「等迦会」事務局長が急逝され、再度事務局長になられ、忙しい日々を過ごしておられます。(駒米記)



北の岬（北海道）50号



早春の谷川岳 50号



左から 坂本さん・橋本さん・本村さん・蒲原画伯・筆者駒米・吉田